



届け！ 私たちの感謝とエール

新型コロナウイルスと闘う医療関係者へ フェイスシールドを贈る

新型コロナウイルスの感染者数は落ち着きを見せ、緊急事態宣言が解除されましたが、今もなお医療現場では、医療用マスク、防護服等、さまざまな物資が不足する中、多くの医療従事者の方々が患者と向き合い、厳しい闘いを続けています。さらに、第2波、第3波も心配されています。

一方、国際ロータリー第2750地区では、2020年5月17日、アークヒルズ・カラヤン広場において「あなたのロータリー」を開催する予定でしたが、お集まりいただく皆さまへの安全を考慮して中止しました。

この催しは、多くの皆さまにロータリーとその活動について知っていただくと同時に、休日のひと時を家族で楽しんでいただこうと企画したものです。本イベントの開催に当たり地区内の会員の皆さまから寄せられた協賛金を、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けている人々のお役に立つことに使えないかと考え、その第1弾として、医療関係者の方々へフェイスシールドを贈ることにいたしました。

幸い、フェイスシールド1万80枚を用意することができ、5月22日、浅田豊久ガバナーが「公益財団法人 日本看護協会」を訪問。同協会会長の福井トシ子氏に目録を渡しました。

なお、これらのフェイスシールドは、同協会から指定いただいた日本全国の関係機関に、直接送付されました。

